

令和4(2022)年度

現代詩講座 詩のピクニック 詩集を読む 2

講師 (順不同)

行吉 正一

(元・東京都江戸東京博物館学芸員)

5月～6月、10月～11月、2～3月

北川 久美子 (高校非常勤講師) 1月

井上 直美

(元・中学校教諭、岡山県詩人協会会員) 12月

永瀬清子生家保存会会員 7月

赤磐市教育委員会学芸員 8月

日時

毎月1回・原則第2金曜日

13時30分～15時30分

場所

赤磐市立熊山公民館1階講座室

※当日の参加人数によっては場所を移動する場合があります。

対象 一般 (市内在住・在学・在勤)

募集人数 20人 (先着順)

参加費 年額 1,000円 (別途実費負担)

申込開始

令和4年4月1日(金) 午前9時～

問い合わせ・申し込み先

赤磐市教育委員会

熊山分室

電話番号:

086-995-1360

詩集は、詩人が思いを込めて編むものです。今年度も、代表的な詩集の中から、いくつかの詩を選んで鑑賞し、一冊の詩集に込められた思いをさぐってゆきたいと思います。また、永瀬清子の詩も毎回一作品紹介します。

講座内容 2022年5月～2023年3月

5月13日(金)

オリエンテーション・『老世紀界限で』(2001年(平成13))伊藤信吉

オリエンテーションの後、伊藤信吉が94歳で出した詩集を読みます。ユーモアと抵抗の詩集です。

6月10日(金)『寄りかからず』(1999年(平成11))茨木のり子

茨木のり子晩年のこの詩集は、ヒューマニズムの精神によって私たちの背筋を伸ばしてくれます。

7月8日(金)永瀬清子生家(赤磐市松木)見学。(入場料:300円)

生家まで散策し、永瀬清子の生家を見学します。

8月19日(金)詩誌『黄薔薇』の詩人の詩を読む

詩誌『黄薔薇』創刊70年にあたり、境節と高田千尋の詩を読みます。

9月 公開講座を予定しています。詳細は、『広報あかいわ』8月号でお知らせします。

10月14日(金)『若葉のうた』(増補版)(1974年(昭和49))金子光晴

鋭い批判精神をもった金子光晴が、孫娘への深い愛情をうたった詩集です

11月11日(金)『定本 山之口獏詩集』(1958年(昭和33))山之口獏

沖縄で生まれた山之口獏は、放浪と貧困の中で、風刺とユーモアのある独特の詩を作りました。

12月9日(金)『すべての愛(アムール)をモチーフにした詩人』新川和江

現代詩のアンチテーゼとしての詩をみていきます。

1月13日(金)『源氏物語の和歌に親しむ』

蓬生巻以降の歌を読んでいきます。

2月24日(金)『在りし日の歌』(1938年(昭和13))中原中也

詩人の死後刊行された詩集で、「在りし日=過ぎた日」をうたった詩には静寂感が漂います。

3月10日(金)『月に吠える』(1917年(大正6))萩原朔太郎

近代人の孤独や不安を深くとらえ、日本近代詩の新しい誕生を示した詩集です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や延期、内容変更となる場合があります。会場内ではマスクの着用や手指の消毒等、感染予防策にご協力をお願いします。咳や発熱等の症状がある場合や、ご体調がすぐれない場合は、ご来館をお控えください。

主催 赤磐市教育委員会